

# もっと自由に、もっと豊かに ～ 障害者芸術文化活動支援～

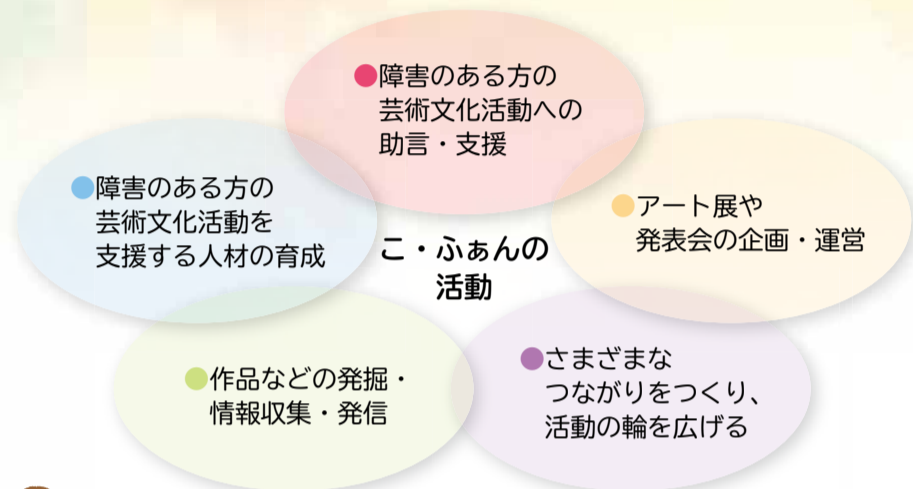
障害のある方が幸福を実感しながら生活していくためには、芸術・文化、スポーツなどあらゆる分野で活躍できる社会を作っていくことが重要です。

県では、芸術文化の分野における障害のある方の自立と社会参加を促進するため、作品展などを開催してきました。県内のさまざまな団体も、それぞれの強みを活かした活動を行っています。その一方で、こうした団体の活動を支援する拠点がありませんでした。

そこで、4月に県障害者芸術文化活動支援センター「こ・ふあん」を設置しました。

今回は障害のある方への芸術文化活動支援について紹介します。

## 「こ・ふあん」では、こんな活動をしています！



### 名前の由来は？

こ・ふあんの「こ」は、個(個人、個性)・Co(共同、相互)を表し「ふあん」は、Fun(楽しみ)・Fan(支持者、サポーター)を意味しています。



## 芸術文化をもっと身近に

私は工房あかねでの支援活動で、障害のある方が作品を評価されて自信につながったり、創作活動を通してたくさんの人とコミュニケーションがとれるようになってきた姿を見てきました。その中で、障害のある方がアートに携わることの重要性を実感していました。

しかし、群馬県ではその重要性が十分に知られていないと感じています。そこで今年度は主に障害者支援施設で働く人を対象に、その重要性を知ってもらうためのセミナーに力を入れています。

参加者からは、ぜひ働く施設でもアート活動を導入したいという声をもらい、うれしく思っています。一方で、導入の仕方が分からないという相談も多く寄せられています。

今後は県と協力して、各施設の芸術文化活動の導入を個別に支援できる体制を整え、より多くの障害のある方にアートを広めたいと思っています。



「こ・ふあん」受託事業者  
NPO法人工房あかね  
代表 小柏 桂子さん

## たくさんの作品と出会い、人とつながる場

「こ・ふあん」では、障害のある方が芸術文化に触れて活動に携わり、さらに生き生きとした毎日を送れるよう、作品の発表や展示、地域の人々と表現を楽しむ場を提供しています。

**絵画展示中** 障害のある方々が創作した絵画5点を展示しています。ぜひご覧ください。

展示の様子

会期 3月31日(日)まで  
※1月1日(月)～4日(木)を除く  
開庁時間はいつでも見学可能  
場所 県庁32階(前橋市大手町)  
費用 無料



題名「GUNMA」

群馬県を知らない人にも、この絵を見て、群馬の魅力を感じてもらいたいと思い、タブレット端末を使って観光地や特産品をたくさん描きました。

描く中で、周りの人たちからもだるまの形や県の名産品など、アドバイスをもらい、たくさんの人の群馬への想いが詰まった作品になりました。

この絵が展示されると聞いた時は、とても驚きましたが、多くの人に絵を見てもらうことで自信ができました。今は新しい作品作りに挑戦しています！

かみつけの里博物館(高崎市井出町)からの依頼で、企画展のポスターのイラストを作成しました。大好きな埴輪を描けて楽しかったです！

私が描きました！

作者 ユメ × せろく  
yume06  
かない ひでみ  
(金井 秀美)さん



## ドラムサークルであそぼう

5年12月にぐんまこどもの国児童会館(太田市長手町)で「ドラムサークル」イベントが開催されました。

障害の有無にかかわらず、多くの人に参加し、共に音楽表現を楽しみました。



スマイルビート  
しみず かずみ  
代表 清水 和美さん

私は、みんなで輪になって自由に太鼓をたたく「ドラムサークル」という活動をしています。自由に太鼓をたたくことで自分を表現でき、言葉を介さずともコミュニケーションを取ることができます。特別支援学校の教員をしていた頃、授業にこの活動を取り入れたところ、感情表現が得意でない児童生徒たちも感情を表現できるようになり、コミュニケーション能力の向上にもつながりました。その経験から、多くの人に「ドラムサークル」を体験してもらいたいと思い「スマイルビート」を立ち上げました。

この活動に参加すると、障害の有無にかかわらず参加者全員が自然な笑顔に包まれます。活動を通して参加者同士で強い結び付きが生まれ、そうした光景を見るたびに、この活動にやりがいを感じています。

## ドラムサークルは 自由な音楽を楽しむ活動！



ドラムの音で踊りを  
楽しむ人も！

